



訪問看護師のための小児看護スキルアップ研修会

責任者：三井 美波 共同者：相墨 生恵

令和7年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

活動の概要

【目的】①小児利用者受け入れへの不安軽減

②ネットワークづくり

③岩手県内の小児訪問看護における質の向上

【対象】小児看護や小児利用者の受け入れ経験の少ない訪問看護師

【内容】講義：小児の形態機能学的特徴や特有の看護技術

実践報告：小児の受け入れ経験のある訪問看護師による報告

演習：モデル人形を活用した訪問看護の現場に必要な

看護技術演習，呼吸補助装置の体験

座談会：県内の小児看護CNSおよび様々な訪問看護師の交流

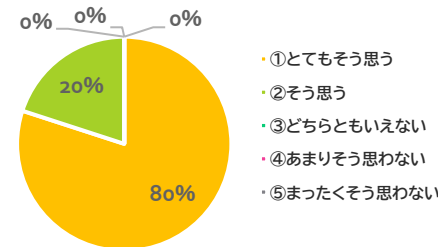
活動の成果

【参加者】9名

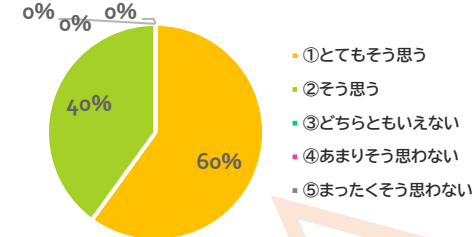
【成果】

- ・アンケート結果より，参加者の満足度は高かったといえる。
- ・事前に学びたい看護技術を確認し，内容を構成したことも満足度の高さにつながったと考える。
- ・少人数であることを活かし，講師と近い位置で受講できる環境を整えたことも，参加者にとって有意義な研修会となった。
- ・CPR等，練習の機会が少ない技術の演習も効果的であったと考える。
- ・県内の小児看護CNSや他の事業所の看護師との交流もネットワークづくりの一助となった。

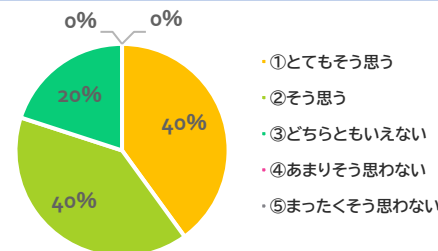
講義内容は期待した内容だったか



技術演習は期待した内容であったか



知識の獲得につながったか



- ・様々な技術の演習ができて良かった
- ・実際触れて聞いて手技が確認できた
- ・CPRやエピペンの対応、窒息時の対応を実践できた
- ・1対1で対応してもらえたので、疑問点をその場で確認できた



講義の様子



技術演習の様子

参加者アンケート結果より